

写

元消安第 3762 号
令和元年 11 月 28 日

都道府県家畜衛生主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

愛媛県で採取された野鳥の糞便から低病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された事例に伴う防疫対策の再徹底について

日頃は家畜衛生の推進に御尽力いただき誠にありがとうございます。

高病原性鳥インフルエンザ等の発生予防対策及び発生に備えたまん延防止対策については、「令和元年度における高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の強化について」（令和元年 9 月 24 日付け元消安第 2118 号農林水産省消費・安全局長通知。）により、万全を期していただくようお願いしているところです。

このような中、本日、環境省から、愛媛県で採取された野鳥の糞便から、低病原性鳥インフルエンザウイルス（H7N7 亜型）が検出された旨、別添のとおり連絡がありました。本事例は、今シーズン初めて本病ウイルスが確認されたものであります。

つきましては、畜産関係者に対し、このことについて積極的に情報提供するとともに、本病ウイルスの侵入防止対策及び飼養家きんの異状の早期発見・通報等について、再度、徹底をお願いします。

また、農場において本病が発生した場合に、迅速かつ円滑な初動対応が講じられるよう、改めて、必要な人員の確保、緊急連絡先の確認並びに必要な防疫資材の備蓄状況及び調達先を御確認いただくとともに、防疫措置従事者の感染防止・健康管理に対応するため、公衆衛生部局との連携体制についても御確認いただきますようお願いいたします。

なお、本病に関する最新の情報については、当省のウェブサイト（<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>）にて随時提供しますので、畜産関係者への注意喚起に御活用いただきますようお願いいたします。

別添

(写)

事務連絡
令和元年11月28日

各都道府県鳥獣行政担当部局長 殿

環境省自然環境局野生生物課
鳥獣保護管理室長

野鳥糞便における低病原性鳥インフルエンザウイルスの検出について
(愛媛県)

令和元年11月19日に愛媛県西条市において採取された野鳥糞便2検体から、
低病原性鳥インフルエンザウイルス(H7N7亜型)が検出されたとの報告が
ありましたので、情報共有します。

なお、このことについて、野鳥での対応は特にありません。

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室
担当：近藤、小西
直通：03-5521-8285